

## 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 2年 3月 5日

公表: 令和 2年 3月 31日

事業所名 \_\_\_\_\_ ジーニアス若草校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	0	適切に守ることができている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	3	0	適切に守ることができている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	0	3		入り口とトイレ前に階段がある。必要に応じて移動式のスロープ等設置したい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2	1	休憩室を設ける事によって利用者のペースに合わせ、活動に参加出来るようにしている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	0	普段からPDCAサイクルを用いて業務を振り返っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	0	保護者の意向を把握し改善につなげている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	0	実施し、公開できている。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	3		法人内他施設からの評価を受け、業改善はしている。今後は取り入れていきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	0	毎月買い議事に勉強会を行っている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	3	0	実施できている。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	0	使用できている。	
	12	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインに沿って、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	0	設定されている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2	1		個別支援計画の周知がスタッフに遅れることがある。承認を得次第すぐに全体化したい。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	0	行えている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	0	同じ外出先など半年以上間を空けて行くようにしている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	0	社会性という観点から、個別支援計画に集団活動での支援を盛り込んでいる。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	0	毎朝もしくは昼に行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	0	3		送迎等の関係でできないこともあるが、翌日行うようにしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	0	毎日記録をとることが出来ている。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3	0	モニタリングは行えている。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	0	児童発達支援管理責任者もしくは担当スタッフを派遣できている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3		必要に応じて連絡を取り合える関係は築けている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	3		対象者はいない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0	3		対象者はいないが協力医療機関との連絡体制は整えている。
	25	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	2		連絡を取れる体制は整えているが、実際に情報共有ができていないことがある。情報を共有できるようにしていきたい。
	26	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	0	同法人内に置いては情報提供できている。	他法人への情報提供も積極的に行っていきたい。
	27	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	1	発達支援センター等の研修には毎回参加できている。	
	28	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	3		大学生との交流のみにとどまっている。今後積極的に行っていきたい。
	29	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	0	定期的に参加できている。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	0	保護者と情報共有は行なえている。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	0	3		要望や必要に応じて行うことはあるが、全ての保護者に対しては行っていない。どのようなことを要望しているか把握したい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	0	説明は行えている。	
	33	放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	2	1		支援内容の説明は行えているが、ガイドラインとの結びつきの説明は部十分なところもある。文章を提示しながら行っていきたい。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	1	必要や要望に応じて行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	3		保護者会等の開催は行っていない。必要に応じて開催したい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	0	必要や要望に応じて行っている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	0	2ヶ月に一回広報誌を発行し、行事予定を周知し、毎月カレンダーを郵送している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	3	0	書庫や書庫のある部屋に鍵を設置し2重に管理している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	0	情報伝達は都度行っている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2		今後はイベント等に招待したい。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	0	策定はできているが、施設内掲示する等して周知に努めたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2	1	利用者と共に訓練を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	3	0	薬の変更等あれば保護者から処方箋のコピーをもらっている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	1	対象者が少なく、保護者とのやり取りにとどまっている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	0	なぜなぜ検証を行い原因追求に勤めている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	0	会議の中で行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3	0	身体拘束は行っていない。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。